

せいび

11月13日発行

第7号



感動を覚える

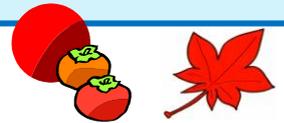
5年生の詩に驚きました。清少納言そのままに「なにかもが…秋の色でそまるところがよい」、「秋の色でそまった木たちに囲まれている空気が好き」、「一人でとぼとぼ歩きながら夕日を見るのもよい」という描写。映像が浮かび上がります。そして、「この場所でこの時間にいることも秋のしわざなのだろうか」という最後の文。秋によって「私」は秋の色に染まった空間に連れてこられた。しかも色が最も映える夕暮れどきに。この文中の「ことも」の「も」は、秋が木々の（葉の）色を染め、特別な空間を作り上げただけでなく、「私」もコントロールされてしまったと感じている「私」がいることを表しています。「一人でとぼとぼ」や「夕日」という表現は秋特有の寂しさなのかなと思いますが、読んだ時に浮かぶ情景はむしろ

わたし風枕草子 秋
岩田柚耶

秋は夕ぐれ
いちようやもみじの木でできた道を歩く
なにかもがオレンジ色や黄色という
秋の色でそまるところがよい
まるで果物が落ちてくるよう
秋の色でそまった木たちに
囲まれている空気が好き
一人でとぼとぼ歩きながら
夕日を見るのもよい
この場所での時間にいることも
秋のしわざなのだろうか

「楽しさ」を感じます。異空間とかバーチャルの世界、空想の世界に飛び込み、それを体感している喜びを感じるのです。この詩が感動的なのは、こういった自分の周りが夢の世界に入り込んだようなことを疑似体験させてくれるからではないでしょうか。

学力学習状況調査～成美小の傾向



国語 漢字の読み書きに関する学習は、昨年同様 県平均を上回り良くできた。逆に、文章を読み取ったり 自分の考えをまとめて文章にしたりする事に関しては、課題が残った。朝読書や読書月間での取り組みをさらに充実させていきたいと思う。

算数 計算問題については、県平均を上回り良くでた。逆に 図形の問題に課題が残った。「三角形の角」「平行四辺形の特徴」「正三角形の周囲の長さ」「図形の面積」の問題が県平均を下回った。図形の学習を重点的に復習していきたいと思う。

理科 「振り子」「電磁石」「顕微鏡の使い方」等 実験によって結果の分かる問題や器具の使い方については良く理解していた。課題が残ったのは、「植物の成長」に関する問題だった。天候に左右されやすい学習なので、継続的に観察できるように学習の工夫をしていきたいと思う。

生活状況 ○「毎朝朝食を食べる」「自分に良いところがある」「地域の行事に参加する」「いじめはいけないことだ」など
●「失敗を恐れないでチャレンジする」「テレビ・ビデオ・ゲームをする時間」「計画的に家庭学習をする」など
※生活習慣が学習に少なからず影響を与えているようです。日常生活の改善によっても学習効果を上げられることを念頭に置き、今後も、学校・地域・保護者が連携して子どもたちを育てていきたいと思います。

※学校だよりや学年だより及びホームページにお子様の写真等を掲載することがあります。差し支えがある場合には学校までご連絡ください

成美小 Best Photo Selection



2年 サツマイモ掘り



1年 ドングリ拾い



3・4年 町民文化祭、



5・6年 ミシンボランティア